

あなたは太丈夫？

地デジへの移行に係るトラブル

2011年から地上デジタル放送（地デジ）に移行することになった、不当な費用請求や勧誘についての情報が寄せられていますのでご紹介します。

○総務省をかたり地デジ用部品代を請求

『総務省推進事務局』と書かれた名刺を持った男が、認知症の姉の自宅へ訪問し、「地上デジタル放送を見られるようにする」とテレビを点検した。

姉はプラグ交換が必要と言われ、訳が分からないまま約3万円を支払ったようだ。地上デジタルテレビ放送が視聴できる状況になっていたため必要のないものだった。

○大手家電量販店と偽り仕事をさせる

日ごろ利用している大手家電量販店を名乗り、制服とよく似た作業服を着た男性が「テレビ映りの調査」と言って訪問してきた。すでに持っている地上デジタル放送対応テレビのために



チャンネル設置工事が必要というので依頼した。後日販売店に電話をすると、「うちの従業員は訪問していない」と言われた。

○放送事業者を名乗りアンテナ工事を電話で勧誘

放送会社を名乗る男性から電話があり、「地デジのアンテナ工事を格安で引き受ける。普通の電気屋では5千円くらい掛かるところを1千円で引き受ける」と言われたが不審に思い電話を切った。翌日、放送会社に問い合わせをしたところ、「そのような営業活動は行っていない」と言われた。

通常、総務省の関係者が訪問して器具の点検や販売をしたり、家電量販店の社員が依頼もないのに工事を持ち掛けたりすることはありません。

▼問い合わせ 市民サービスG

(☎ 853491)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

和太鼓『青嵐』

和太鼓『青嵐』は、親子で楽しめる太鼓チームを目指し、平成15年3月に結成した太鼓チームです。現在、会員は小学生から大人までの8人。毎週金曜日の19時から21時まで、労働福祉センターで練習し、豊水まつりや市民演芸大会、市内各地のお祭りなどのイベントで演奏して、地域を盛り上げています。

「太鼓の魅力は年齢性別を問わず、だれでも気軽に始められる点ですね。青嵐では、一糸乱れず演奏する太鼓チームには珍しく、オーケストラのように各パートに分かれて1つの曲を演奏します。そのため、それぞれの技量や体力に合わせて演奏することができるとが特徴です」と話すのは、サブリーダーの江利川恵美子さん。

「反面、それを一つの曲にまと



誰でも簡単に始められる太鼓を、親子で一緒に楽しみたい



めるためには、何度も練習を重ねることが大切です。練習を重ね、気持ちの一つにすることで、自然と子どもたちは仲がいいですね。今は、これまでやってきた子どもたちが大きくなり、退会してしまつて会員が少ないので、入会者大歓迎です。親子で始めると会話も弾みますよ」と江利川さんは入会を呼び掛けていました。

3歳から入会している西田瑠邑さんといこの鈴木美悠菜さんは「母や兄がやっていて、面白そうなので始めました。太鼓はカッコイイし、うまく演奏できたときの拍手はとても気持ちいいです」と楽しそうに太鼓の魅力を話してくれました。

入会を希望される方は、リーダーの廣瀬至さん（☎ 852903）までどうぞ。